

咲きほこる

校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和 3年 1月21日(木)

南関町立南関第四小学校 学校便り

No.10

文責：坂本 隆文

令和2年度「心のアンケート」結果

昨年11月から12月にかけて熊本県公立学校「心のアンケート」を実施しました。このアンケートは、熊本県内の小・中・高の全ての児童生徒を対象に実施されています。アンケートの目的は、「熊本県いじめ防止基本方針」に基づき「いじめの防止等のため」に実施しているものです。アンケートの結果をもとに、教育相談を実施し、いじめや悩み等の早期解決・解消を行うためのものです。質問項目は多数ありますが、その一部の結果をお知らせします。

【南関四小の結果（一部のみ）】

質問	◎○	△×	%
学校が楽しい	74人	2人	97.4%
自分は誰かの役に立っている	65人	11人	85.5%
授業がよく分かる	75人	1人	98.7%
自分に自信がある、自慢できることがある	64人	12人	84.2%
いじめられたことがない（4月から）	67人	9人	88.2%
自由に使える通信機器を持っている	54人	22人	71.1%
使用時間等について家庭でのルールがある（3年～6年のみ）	26人	13人	66.7%
夜22時から朝5時まで通信機器を使用しない	30人	9人	76.9%
フィルタリングを設定している（分からない23人）	9人	7人	56.3%

「学校が楽しいか」という質問には、ほとんどの児童が「楽しい」「まあまあ楽しい」を選んでいました。「あまり楽しくない」と答えた2人は、友だちとのトラブル等があったためにそのように答えたということでした。

一番肝心な「いじめ」についてですが、「いじめられたことがある」と答えた児童が9名いました。その子どもたちには、担任がその内容や状況を詳しく聞き取り、また、必要に応じて関係者等からも話を聞き取りました。その結果、多くは些細なけんかやトラブル等であり、既に解決済みだったりその場で解決したりできました。今後も子どもたちの様子に気を配り、いじめのない学級、学校づくりに努めて参ります。

「自由に使える通信機器」を持っているか？との問いに「持っている」と答えた児童（複数回答）が54名いました。ゲーム機器が最も多く38名、タブレットが28名、スマホ18名などでした。これからの時代、通信機器を使いこなしていく力は必要不可欠になります。学校でも、4月から児童一人につき1台のタブレットが準備され、活用していくことになっています。

ただ、問題は「家庭でのルールがない」ご家庭が約33%、「夜10時以降も使用している」児童が約23%いるということです。また「フィルタリングの設定をしていない」家庭が約44%ある（分からない児童が23名）ということだと思います。通信機器は、大変便利で、なくてはならない物ですが、一方で、様々な犯罪に巻き込まれたり、長時間の使用で学習時間が不足したり、睡眠時間が足りなくなった

り、情緒が不安定になるなど、健康に害が出てきたりしているとの報告もあるようです。

それぞれのご家庭で、子どもさんの使用実態をしっかりと把握していただき、約束を決めるなどの必要な対応をぜひお願いいたします。

令和2年度も残り2ヶ月ほどとなりましたが、子どもたちが充実した学校生活を過ごし、校訓にあるように「かしこく やさしく あかるく つよく」育っていくよう、児童・職員一同、引き続き努力していきたいと思っております。何か、ご心配やご不明な点等がありましたら、いつでも学校にご連絡をお願いいたします。相談窓口は、小野教頭、吉澤養護教諭となっています。また、各担任でも構いません。どうぞよろしくお願いたします。

町教育委員会学校訪問

1月19日(火)に学校訪問がありました。谷口教育長をはじめ、4名の教育委員さんや教育委員会の皆様方、合計10名をお迎えしました。

学校の取り組み状況説明のあと、2校時と3校時に授業参観を行いました。

2校時は、1年生の道徳と2年生の道徳、3年生の国語、4年生の理科、6年生



の社会の授業を、3校時には、たけんこ学級の国語、3年生の算数、4年生の国語、5年生の算数、よつば学級の国語の授業を参観していただきました。



4校時には、委員会から次のような指導助言をいただきました。成果としては、

◇新型コロナウイルスの感染防止の対策がしっかりとされている。

◇めざす子どもの姿に向かって、全職員で共通実践ができています

◇タブレット等のICT活用が思っていたよりも進んでいた

などのご意見をいただきました。



また、今後の課題として、

◆更なる授業改善（アナログとデジタルの使い分け、思考力向上のためのタブレット活用等）

◆未来を指向し、子どもたちに必要な汎用的資質・能力の育成を目指してほしい 他

残り少ない期間ではありますが、指導助言を活かしながら、本年度のまとめと、令和3年度の準備を行っていききたいと思います。